

アドバンスト医科学研究コース I

科目番号		科目区分	単位数又はコマ数	開講時期
41RES306		選択	1 単位	1～6 年次生前期
担当教員名	職名／所属	実務経験	E メールアドレス	オフィスアワー
山田 雅己	教授／分子生体情報学	研究職	yamadama@u-fukui.ac.jp	メール連絡の上、随時

1 学修目標

- ・医学系研究科博士課程において開講している「医科学基礎総論」、「医科学特論」、「先端応用医学概論」の動画を視聴し、先進的な臨床に関する事項について理解することができる。

2 授業の内容

- ・医学系研究科博士課程において開講している「医科学基礎総論」、「医科学特論」、「先端応用医学概論」のうち、先進的な臨床に関連する内容のオンデマンド教材を受講する。
- ・視聴する動画は、免疫・アレルギー・感染症に関連のあるもので構成されている。
- ・当該プログラム選択者には、学外診療参加型臨床実習において、米国のアドバイザー研究室等の海外での実習を優先的に実施させることがある。

回	項目	内容（キーワード）	参照科目名
1	免疫・アレルギー・感染症	がん免疫細胞治療	先端応用医学概論
2	免疫・アレルギー・感染症	慢性気道炎症概論	先端応用医学概論
3	免疫・アレルギー・感染症	自己抗体と自己免疫疾患	先端応用医学概論
4	免疫・アレルギー・感染症	新興・再興感染症概論	先端応用医学概論
5	免疫・アレルギー・感染症	感染制御学概論（各論）	先端応用医学概論
6	免疫・アレルギー・感染症	脳血管障害の危険因子概論	先端応用医学概論
7	免疫・アレルギー・感染症	難治性疾患（難病）・小児慢性疾患（2）	先端応用医学概論
8	免疫・アレルギー・感染症	バイオ・インフォマティクス	先端応用医学概論
9	免疫・アレルギー・感染症	骨・軟部腫瘍の最新の基礎と臨床	先端応用医学概論
10	免疫・アレルギー・感染症	子宮肉腫の病態解明	先端応用医学概論
11	免疫・アレルギー・感染症	免疫アレルギー反応における細胞内シグナル伝達機構	医科学特論
12	免疫・アレルギー・感染症	細胞分化決定機構の概念の変遷	医科学特論
13	免疫・アレルギー・感染症	凍結割断レプリカ標識法とゲノム編集技術を組合せた高感度膜分子局在解析法の確立と応用	医科学特論

14	免疫・アレルギー・感染症	血管・リンパ管研究の概要と先端研究	医科学特論
15	免疫・アレルギー・感染症	ゲノム編集と CRISPR	医科学特論

3 授業の形式・形態

- ・動画を用いた講義（原則、オンデマンド式遠隔授業で行う。）

4 到達目標

医学教育モデル・コア・カリキュラム区分		到達目標
科学的探究	医学研究への志向の涵養	・研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。 ・抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、解決に向けて科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に参加することができる。

5 準備学修

- ・予習：各講義に関する資料を熟読する。
- ・復習：ミニッツペーパーの回答をする。

6 総合評価割合

- ・ミニッツペーパー 100%

7 評価方法

- ・すべての回のミニッツペーパーの提出をもって単位取得とする。

8 その他、履修上の注意事項や学修上の助言など

- ・実践的な臨床の内容を取り扱うため、臨床医学を学習した医学科4年次生以降の受講が望ましい。
- ・自身の興味、関心のある研究室において、継続した研究を行っていることが望ましい。
- ・大学での研究経験を基に実務経験を生かして、実践的な講義を行う。

9 アクティブ・ラーニング（主体的・対話的教育手法）の導入状況

(1) 導入している教育手法

- ・ミニッツペーパー
- ・授業外学習の推進

(2) 導入の程度

- ・上記(1)の何れかを中心に実施する授業を5コマ以上含む、もしくは科目内の1/3以上